

平成5年7月 同編集長・同所長

勤務先 東京都港区芝公園2-6-3 a b c 会館 8 階

ロータリーの友事務所 ☎03-3436-6651

F A X 03-3436-5956

自 宅 東京都大田区池上1-14-18

☎03-3753-0392

◎東京みなとロータリークラブ会員

四つのテスト

— 言行はこれに照らしてから —

- | | |
|------------|------------------|
| I 真実かどうか | III 好意と友情を深めるか |
| II みんなに公平か | IV みんなのためになるかどうか |

4月14日例会： 北ロータリークラブ創立10周年記念式典

4月23日例会： 通常例会 堀川正幸次年度会長のメッセージ、
ロータリー情報ワンポイントスピーチ

4月30日例会： 通常例会 外部卓話「これからの商品造りについて」
(有)竹内快速鋸代表取締役竹内英治様

5月7日例会： 通常例会 会員卓話 馬場直次郎会員 ロータリ情報ワンポイントスピーチ

5月14日例会： 通常例会 会員卓話 丸山誠一会員 ロータリー情報ワンポイントスピーチ

5月21日例会： 通常例会 クラブフォーラム 地区協議会報告会

5月28日例会： 通常例会 会員卓話 柄沢憲司会員 ロータリー情報ワンポイントスピーチ

6月4日例会： 通常例会 クラブアッセンブリー

6月11日例会： 通常例会 家庭会合報告会

6月18日例会： 通常例会 味方会長「本年度を振り返って」

6月28日例会： 会長幹事慰労会



三条北ロータリークラブ週報

真心の行動
慈愛の奉仕
平和に挺身

例会日
1996. 4 . 10
累計 No 458
当年 No 38

国際ロータリー会長 ハーバード・G・ブラウン 第2560地区ガバナー 重田政信

会長/味方義一

幹事/木宮 隆

SAA/稲田 憲治

例会日/火曜日 12:30~13:30

例会場/三条ロイヤルホテル ☎34-8111 FAX 34-8114

事務局/三条市西四日町3-15-34

ヒューマン・ハーバー内 ☎35-7160 FAX 33-8972

行 事： 市内3RC合同例会（講演会）

卓話「雑誌月間とロータリーの友」ロータリーの友所長 別所直實様

出 席： 本日の出席 59名中47名（内記帳12名）

先々週の出席率 59名中51名 86.44%（前年同期85.19%）

3月の出席状況 会員数59名 例会数4回 平均出席率86.02%

（前年同月88.62%）

先週のメイクアップ： 4月2日 村松RCへ 山上茂夫さん

3日 新潟南RCへ 山上茂夫さん

8日 三条南RCへ 布施 勲さん 外山晴一さん 中條耕二さん

江口 悟さん 石川勝行さん 平松利朗さん 佐藤啓策さん

佐藤文夫さん 加藤 実さん 坂本勝司さん 高橋彰雄さん

山上茂夫さん

10日 中条RCへ 山上茂夫さん

ビジター： 三木みどりRCより 藤本晏夫さん

三条RCより 外山一郎さん 五十嵐晋三さん 船越正夫さん 渋谷健一さん

加藤紋次郎さん

三条南RCより 船久保孝志さん 吉田行雄さん 草野恒輔さん

ゲ ス ト： ロータリーの友編集長・所長 別所直實様

会長挨拶： 三条南ロータリークラブ 丸田肇一

皆さん今日は、南クラブの丸田で御座います。

本日は、昨年に続きまして3クラブ合同雑誌月間例会で御座います。

今年は南クラブが担当ですので本日の例会を設営させて頂きました。

私たちがロータリーの情報を得るには数多くのメディアが御座いますが、中でも最も重宝してい

るのが、月刊誌の「ロータリーの友」ではないでしょうか。

しかし、現状では「ロータリーの友」を精読される人三分の一、パラパラと見る人三分の一、全然みない人三分の一と言われております。

今日は、ロータリーの友事務所々長で編集長でもいらっしゃいます、別所直實様を東京からお迎えして、「ロータリーの友」についてのご講演を頂きます。

少し例会時間を延長するかも知れませんがご清聴下さい。

又、是非この機会に「ロータリーの友」を理解され、精読されますようお願い申し上げご挨拶と致します。

幹事報告： 木宮幹事

なし

ニコニコボックス： 10日現在累計 997,576円

イライラボックス： 10日現在累計 10,000円

卓話： 雑誌月間と「ロータリーの友」 別所直實さん



雑誌週間は1943年1月から始まる。1911年1月にロータリアン誌の前身 The National Rotarian が創刊され、それを記念して1月をあてたと思われる。1940-49年まで日本はR I から脱退していた。その間での設定である。

1905年にロータリーが発足し、1910年に16クラブとなり、全米ロータリークラブ連合会 (The National Association of Rotary Clubs) を結成した。その時ポール・ハリスが全ロータリアンにぜひ訴えたいことがあるとってチェス・ベリー事務総長に相談した。事務総長は手紙では経費がかかると悩んだ。そのロータリー大会で機関誌を出そうという気運に一度はなったが、機関誌を出すと、それに載ったものが、ロータリーを支配するのではないかという意見も出て、採択されなかった。雑誌を出そうという決議は出なかったけれど、雑誌を出してはいけないという決議も出なかったのだから、出してもいいのではないかと考え、発行することになった。

タブロイド版 ページのザ・ナショナル・ロータリアンは最初3,000部、その後2,000部、追加発行された。この内容は「友」に3度載っている。1966年(14巻)2月号と1977年(25巻)、1992年(40巻)の2月号に「合理的ロータリアニズム」(Rational Rotarianism)と題してである。

全米ロータリークラブ第2回大会で月間雑誌とする決議がなされその後ザ・ロータリアンとなった。1933年にスペイン語版のレビスタ・ロータリアもでた(1990年7月1日付けで発行停止)。

雑誌週間は1979年から4月に変わった。ロータリー年度の前半は9月青少年活動週間、10月職業

奉仕週間(日本では米山週間も)、11月ロータリー財団週間、後半は1月雑誌週間、2月世界特別週間として機能を果たすことができないという理由で少し間隔をおいて4月に決まったようだ。

わが国の雑誌の歴史は戦前「国際ロータリー月報」がでている。当時は1地区だったので、今のガバナー月信のように使われたものと思う。両面表紙で、全ページの30-25%は英文となっている。当時は日本語の文献はほとんどなく、英語の文献を頼りにしていたようで、ロータリーソングも米国で歌われていたものをそのまま歌っていた。「我等の生業」「奉仕の理想」は昭和10年に全国のロータリアンから、募集したもの一つで、今日まで歌い継がれている名作である。

その頃、日本のロータリーは軍部の圧迫を受けて困難な時代であった。日本、満州、朝鮮、台湾のロータリーが一つになって「日満ロータリー」をつくった。その雑誌が「日満ロータリー月報」で、これも両面表紙で裏のほうは英語になっている。

戦後、日本のロータリーはR I に復帰し、1952年に2地区に分かれたため、互いに連絡を密にするため雑誌をつくることが決議され、R I 理事会の承認を得て、1953年(昭和28年)1月に創刊された。縦組みにするか、横組にするかで論議され、当時横文字をよく使うので横組になった。2年目(4月)から俳句と短歌を載せるようになり、縦組みが入った。縦組のページが増え、縦組みと横組がいろいろ混じると読みにくいから、分けてほしいとの要望があり、現在の形となった。

現在、ロータリーの雑誌は1,255,338部発行されている。このうち公式機関誌の「ロータリアン誌」が520,000部、その他735,338部が各国の地域雑誌で「ロータリーの友」が139,500部で一番多い。地域雑誌は2種類あり、「公式地域雑誌」と、その他の地域雑誌である。「公式地域雑誌」はR I 理事会によって「承認され、指定された」地域雑誌でクラブ定款12条によって、当該地域の会員は購読を義務づけられている。「公式地域雑誌」は現在「友」を含め23種、他に4種の地域雑誌がある。

「ロータリーの友」は戦後日本のロータリーが2地区にわかれた際、両地区をつなぐ——日本のロータリアンの拠り所として発刊された。1953年1月で3,300部であったが、44年後の3月号は140,200部、通巻519号を数えている。

「友」は依頼原稿、会員からの投稿、ロータリアン誌からの翻訳、直接取材などによってつくられている。1972年1月から従来の形式を一変して縦組みと横組を画然と分け、両面に表紙があるという画期的な体裁となった。

別所直實略歴：

昭和30年3月中央大学経済学部卒

昭和33年11月ロータリーの友入社

昭和51年4月ロータリーの友デスク

昭和63年7月ロータリーの友副編集長

同 ロータリーの友事務所副所長